		児童発達支援	事	美所に	こおける自己評価結果	(公表) 令和 4 年 1 月 21 日公
		チェック項目	はい	いいえ		課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である			法令に基づく十分なスペースが確保 されています。 療育内容や活動に合わせてスペース を有効に使えるように工夫しており ます。	今後も療育や活動の内容、児童の(に配慮して、空間を有効に活用していります。
	2	職員の配置数は適切である			法令で求められた配置基準に沿って 人数を配置し、かつ有資格者、専門 職で対応しております。	より良い支援ができるよう、今後も 童数に応じて職員配置をし、対応し まいります。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく 構造化された環境になっているか。 また、障がいの特性に応じ、事業所 の設備等は、バリアフリー化や情報 伝達等への配慮が適切になされて			現在該当児はいないが、階段は職員 が必ず付き添って昇降しており、安 全面への配慮に努めております。	事業所内でバリアフリー化が課題とる箇所が見つかった場合は、そのを対応できるようにしてまいります。階段の昇降は必ず職員が付き添い、全に配慮してまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ご せる環境になっているか。また、 子ども達の活動に合わせた空間と なっている			児童が快適に暮らせる空間作りや衛生管理に配慮し、療育後は玩具の消毒や除菌、トイレや各部屋、家具の清掃、消毒等を欠かさずおこなっております。 また感染症予防対策として、空気の入れ替えや、玄関での検温、手指の消毒、マスク着用を促しております。	今後も徹底した衛生管理に努め、そ日の児童の状況や活動により、個別集団で各部屋を使い分け、適切なびで心地よく過ごせる空間作りを継続てまいります。
	5	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り) に、広く職員が参画している			全職員が確認できる連絡ノートや、 リフレクション会議で情報共有し、 業務改善に努めております。	今後もより良い支援を提供していけ ように、その都度全職員で話し合い 業務の改善策について検討してまい ます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている			年 1 回アンケートを実施し、その ご意見を全職員で周知・検討し、業 務の改善に努めております。	今後も保護者様からいただいたご をもとに、より良い支援ができる。 に努めてまいります。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者 向け評価表の結果を踏まえ、事業所 として自己評価を行うとともに、 その結果による支援の質の評価及 び改善の内容を、事業所の会報や ホームページ等で公開している			自己評価の結果は公式 web サイト で公開しております。	今後も結果は公式 Web サイトで公 してまいります。
	8	第三者による外部評価を行い、評価 結果を業務改善につなげている			現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者からの評価受審についてはその検討課題として検討してまいります。
	9	職員の資質の向上を行うために、 研修の機会を確保している			年間研修予定を計画し、事業所内研修を実施しております。	今後も事業所内研修を継続し、必要 応じて外部研修等にも参加し、職員 資質向上に努めてまいります。
	10	アセスメントを適切に行い、子ど もと保護者のニーズや課題を客観 的に分析した上で、児童発達支援 計画を作成している			アセスメントを定期的に実施し、児 童の状況や保護者様のご意見を踏ま え適切に作成しております。	今後も保護者様のご意向を踏まえた えで、支援計画を作成してまいりま
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している			現在は基本の標準化されたアセスメ ントのみを実施し、適応行動の状況 を把握しております。	今後必要部分は改善していき、より 確にアセスメントできるよう努めて いります。
	12	児童発達支援計画には、児童発達 支援ガイドラインの「児童発達支援 の提供すべき支援」の「発達支援 (本人支援及び移行支援)」、「家族 支援」、「地域支援」で示す支援内容 から子どもの支援に必要な項目が 適切に選択され、その上で、具体的 な支援内容が設定されている			定期的に保護者様との面談をおこない、児童の発達状況や課題、保護者様のご意向を検討して、ガイドラインのから必要な項目を選定し、支援内容を設定し、提示しております。	今後も、保護者様のご意向を尊重し 児童にとって適切な支援内容の選択 できるように努めてまいります。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が 行われている			児童発達支援計画を踏まえ、職員間 で共通認識を持って支援に取り組ん でおります。	今後も継続して支援計画に沿った。 に努め、気づきなどを記録に残して 情報共有に努めてまいります。
	14	活動プログラムの立案をチームで 行っている			職員間で話し合い、児童の特性や課 題に応じて立案しております。	専門的な視点や意見を取り入れながら、チーム全体でより内容の濃い流 プログラムを立案してまいります。
適切な支援の	15	活動プログラムが固定化しないよ う工夫している			季節に合わせた制作・行事や集団療育も取り入れて固定化しないように工夫しております。	今後も、児童が意欲的に楽しんで見 組めるよう職員間で話し合い、固定 することがないようプログラムを してまいります。
な支援の提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動 と集団活動を適宜組み合わせて 児童発達支援計画を作成している	0		それぞれの児童に必要な支援ができるように、個別活動と、集団活動を 適切に組み合わせて計画を作成して おります。	今後も個別活動と集団活動をバラン良く組み合わせて、より良い支援が きるよう計画を作成してまいります
	17	支援開始前には職員間で必ず打合 せをし、その日行われる支援の内容 や役割分担について確認している			当日の流れや役割分担については毎朝確認し、情報共有を図っています。 支援の内容については記録を確認 し、気付いたことがあればすぐに話 し合っております。	朝礼では細やかな内容の確認までは毎回できておらず、今後内容確認できるが、今後内容確認できるが、今後内容確認できるができません。 合っていけるよう努めてまいります。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	0		支援終了後は送迎等で難しい面もあり、翌日朝礼の場で気付いた点や、 気になること等を話し合える時間を 設けられるようにしております。	今後も時間を見つけ、即日、もしく 翌日に情報共有の徹底のため話しる の場を持ち、より良い支援に繋げて いります。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につ なげている			支援経過記録には支援内容だけでなく、その日の体調面や様子、気付いた点や、気になること等を合わせて正しく記入しています。 職員間で伝え合い情報共有をしております。	より分かりやすく職員間で検証、改情報共有し、より良い支援に繋げてけるように、支援経過記録を改善しまいります。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童 発達支援計画の見直しの必要性を 判断している			定期的にモニタリングを実施し、児 童の状況や保護者様のご意向を踏ま えて計画の見直しや作成をおこなっ ております。	今後も定期的に計画の見直しや作成 おこなってまいります。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス 担当者会議にその子どもの状況に 精通した最もふさわしい者が参画 している	0		児童発達支援管理責任者や対象となる児童の状況を掌握している職員が 参画しております。	今年度はコロナ禍でもあり、電話で対応出会ったり、対面での参加はでない場合もありましたが、今後はでるだけ参加し、情報を交換し、計画支援に活かしてまいります。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の 関係者や関係機関と連携した支援 を行っている			相談支援事業所を通じて地域の必要 な情報を共有しております。	障がい福祉課等の関係機関との連携図り、良い支援ができるように努めまいります。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が 象となっていることもあり、今後受 入れ希望があった場合は、慎重に し、受け入れ体制・事業所のありが ついて模索してまいります。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症 心身障がいのある子ども等を支援 している場合)子どもの主治医や 協力医療機関等と連絡体制を整え ている		0	現在医療的ケアが必要な児童は在籍していません。	事業所は重症心身障害以外の児童が象となっていることもあり、今後5人れ希望があった場合は、慎重に付し、受け入れ体制・事業所のありかついて模索してまいります。
	25	移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている			相談支援専門員や保護者様からの情報の共有に加え、必要に応じて、幼稚園、保育園への電話連絡や訪問をおこない、支援が途切れないよう、情報共有を行うとに共通理解を図れるようにしております。	今後も関係機関と連携して情報提供 相互理解を図ってまいります。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている			現在、相談支援専門員や、保護者様からの情報の共有に加え、必要に応じて幼稚園、保育園との情報交換はできていますが、小学校、支援学校とは直接的な情報交換はできていません。	今後は関係機関と連絡を取り、直持な情報交換の機会を設け、情報共和 相互理解を図ってまいります。
	27	他の児童発達支援センターや児童 発達支援事業所、発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、 助言や研修を受けている			事業所を併用している児童について は担当者会議で情報共有に努め、相 談支援専門員を通して様子を伝える など連携に努めております。	今後は積極的に関係機関の研修会の 会を逃さず参加して助言を受け、代 業所ともより密に連携取れるように めてまいります。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等 との交流や、障がいのない子ども と活動する機会がある		0	コロナの影響もあり事業所での交流 機会はありませんでした。	保護者様のご意向を伺いながら、多 会への検討をおこなってまいります
	29	(自立支援)協議会子ども部会や 地域の子ども・子育て会議等へ積 極的に参加している			コロナの影響で参加機会はありませんでした。 行政からの企画案内や、外部研修、 助言をいただける機会があれば積極 的に参加していきたいと思います。	今後は積極的に関係機関の研修会の会を逃さず参加して助言を受け、代業所ともより密に連携取れるようはめてまいります。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と 伝え合い、子どもの発達の状況や 課題について共通理解を持ってい る			送迎時、連絡帳、家庭連携等を通し、 情報共有、共通理解ができるように 努めております。	今後も引き続き情報交換、共通理所 していけるように努めてまいります
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム (ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている			事業所主催での大掛かりな企画は実施できていませんが、県内で開催されるペアレント・トレーニングの講座をご案内したり、参考になる図書を紹介できるようにしています。家庭連携にて保護者様からの相談に応じ、児童との関わり等への助言や支援に努めております。	これからも保護者様に寄り添う支援できるよう、職員も合わせて勉強、 修機会を逃さず参加してまいります 職員間でもミーティングを実施し、 り良い情報提供をしていけるような や能力向上に努めてまいります。
	32	運営規程、利用者負担等について 丁寧な説明を行っている			契約時に重要事項説明書、契約書を 通し、丁寧にご説明しております。	契約時のみならず、ご質問や再度記のご要望があればいつでも対応されいただいております。 今後もご理解頂けるよう丁寧な説明心がけてまいります。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている			ガイドラインが示す支援内容を踏まえ、保護者様のご意向や児童の課題に合わせた計画を作成し、保護者様へ詳しく説明を行ったうえで同意を得ております。	今後も児童の状況や保護者様のご意 に応じた計画を作成し、丁寧な説明 努めてまいります。
	34	計画の同意を得ている 定期的に、保護者からの子育ての 悩み等に対する相談に適切に応じ、 必要な助言と支援を行っている			送迎時や連絡帳のやりとり、家庭連携を通して保護者様からのお悩みや 心配ごとについて伺い、気持ちに寄り添った助言やアドバイスができる	今後も保護者様が話しやすい雰囲気 りに努めてまいります。

コロナ感染症の事態の収束が見られた

際には、保護者様のご意向に配慮しな

がら、保護者同士や、職員との交流を

ご意見をいただいた場合には、苦情に

ついては真摯に受け止め、事実につい

て丁寧にご説明し、改善と環境整備に

また解決に向け迅速でスムーズな対応

を心掛け、保護者様との信頼関係の構

築に努め、出来るだけ迅速な対応をお

こない、問題解決を図ってまいります。

今後も継続して情報を発信し、保護者

様へも目を通しやすく分かりやすい

「お便り」の作成に努めるなど努力し

今後も個人情報についての細心の注意

を払い、取り扱い・保管に努めてまい

連絡帳に児童の様子を記入し、気軽に

連絡が取りあえるよう、必要に応じて

こちらからも電話で様子をお聞きする

等、今後も状況に応じて配慮に努めて

現在は感染症リスクもあり、実施でき

ておりませんが、事態の収束が見られ

た際には保護者様のご意向を踏まえ、 交流の機会を検討してまいります。

各種マニュアルは定期的に見直しを行

い、現状に即したものへと策定・整備

を行い、保護者様へもご覧いただける

ようにご案内を継続してまいります。

今後も非常時に備え、定期的に児童と 一緒に避難訓練を実施していきます。

保護者様には訓練時の様子をカレン ダー裏面のお便りでもご報告し、より

分かりやすくお知らせしていきます。

今後も保護者様から詳細な情報収集を

継続して、職員への周知と意識づけ、

定期的な振り返りをおこなってまいり

今後も保護者様から詳細に情報をいた

だき、全職員への周知を徹底し細心の

今後も記録の徹底、情報の共有・認識

一致のうえ、再発防止に向けて職員間

で話し合い、その都度振り返りを心掛

今後も事業所内研修をはじめ、虐待に

関する外部研修にも積極的に参加し、 虐待を決して起こさず意識して関われ

るよう、職員間で話し合いを継続し、

今後も原則として「身体拘束を行わな

緊急時、または児童の命に関わる事象

が起きる可能性がある場合の止むを得

ない状況に限りおこなわれることを保

護者様に十分説明を尽くし、同意を得

て、個別支援計画にも記載をしてまい

周知徹底してまいります。

い基本姿勢」を遵守します。

ります。

注意を払ってまいります。

けてまいります。

ます。

検討してまいります。

努めます。

てまいります。

ります。

まいります。

コロナ禍もあり現時点では保護者会

苦情や申し入れの対応には苦情窓口

を定め、迅速に対応出来るよう整備

に努めており、保護者様にも契約時

に説明させていただいております。

苦情をいただいた場合には、全職員

に周知し、ご意見と対応についての

公式 Web サイトのブログにて事業 所の様子をお伝えしています。

また年 4 回「COMPASS だより」

連絡帳で行事予定やお知らせ、毎月 の様子を写真と共にわかりやすく事

業所便りとして掲載、配布しており

個人情報はすべて鍵付きのキャビ ネットに保管しています。

写真掲載や音声、動画撮影に関する

個人情報についても必ず保護者様の

状況や特性に合わせたアイテムや、 伝達方法を選択し、保護者様にも専

門用語を避けた分かりやすい説明や

利用児童や保護者様の支援に関わる

情報を全職員に周知し共有しており

現時点では事業所行事に地域住民を

各種マニュアルや対策は保護者様に

ご覧いただけるよう、全て事業所の

入り口に提示し、全職員で周知徹底

様々な災害の発生を想定して避難訓

練は年間計画の元、参加する児童へ

事前のアセスメントで、保護者様に

服薬や、発作等の状況確認は丁寧に

緊急時には最善の対応ができるよう

現時点で医師の指示書が必要な児童

はいませんが、事前に保護者様より

詳しく情報をいただき全職員で共有

ヒヤリハット報告書を作成し、事例

はファイルで保管し、ヒヤリハット

報告書を作成した時は全職員が内容

を確認し、押印して再発防止に繋げ

職員研修を年間計画に盛り込み、虐

待防止に関する研修を実施しており

現在、身体拘束が必要だと思われる

児童の受け入れはありません。

聞き取りをしています。

しています。

ております。

ます。

全職員で共有しております。

配慮しながら実施しております。

招待する企画は行えていません。

情報伝達を心掛けております。

共通理解を図っています。

を季刊発行しています。

同意を得ております。

ます。

ます。

しております。

ように心がけております。

の開催はできておりません。

関係機関や保護者との連携
保護者への説明責任等

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

非常時等の対応

いる

いる

父母の会の活動を支援したり、保

護者会等を開催する等により、保

子どもや保護者からの相談や申入

れについて、対応の体制を整備する

とともに、子どもや保護者に周知し、

定期的に会報等を発行し、活動概要

や行事予定、連絡体制等の情報を

子どもや保護者に対して発信して

個人情報の取扱いに十分注意して

障がいのある子どもや保護者との

意思の疎通や情報伝達のための

事業所の行事に地域住民を招待する

等地域に開かれた事業運営を図って

緊急時対応マニュアル、防犯マニュ

アル、感染症対応マニュアル等を

策定し、職員や保護者に周知する

とともに、発生を想定した訓練を

非常災害の発生に備え、定期的に避

難、救出その他必要な訓練を行って

事前に、服薬や予防接種、てんかん

発作等のこどもの状況を確認して

食物アレルギーのある子どもにつ

いて、医師の指示書に基づく対応

ヒヤリハット事例集を作成して事

虐待を防止するため、職員の研修

機会を確保する等、適切な対応を

業所内で共有している

がされている

している

配慮をしている

実施している

相談や申入れがあった場合に迅速

かつ適切に対応している

護者同士の連携を支援している

[○]この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。